

令和5年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	障害者デイサービスセンター東大洲	位置	大洲市東大洲270番地1
指定管理者名	社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会	所管課	社会福祉課 Tel0893-24-1758

【施設の概要】

設置年月日	平成11年 4月 1日	構造	鉄筋コンクリート造 地上4階建て
設置目的	利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とする。		
施設機能	身体障害者福祉活動の拠点としての機能		
利用料金等	所得税による応能負担		
開館・閉館	開館 午前8時30分 閉館午後5時15分		
指定管理業務内容	自立支援サービス事業		
施設管理体制	常勤:指導員2名 兼務:指導員13名		

【施設利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R5年度	112	117	124	111	126	110	126
R4年度	117	101	108	98	91	105	105
比較	△5	16	16	13	35	5	21
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R5年度	115	111	99	103	118	1,372	
R4年度	116	105	108	111	122	1,287	
比較	△1	6	△9	△8	△4	85	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
経常経費補助金収入(大洲市)	108,000	人件費支出	10,269,699
障害福祉サービス等事業収入	11,070,810	事業費支出	1,331,451
その他の収入	31,713	事務費支出	212,716
		積立資産支出	86,384
合計	11,210,523	合計	11,900,250

※ 指定管理料なし。

【サービス向上に向けた取り組み】

R5年度	余暇活動の時間を利用者の趣味や興味に合わせた素材や機材の提供を行った(編み物、スクラッチアート、プラモデル類の模型、ジグソーパズル、遊技機の設置等)。季節に合わせた創作活動を行い、各利用者との交流や、作品を展示することで自己表現の場となるよう支援した。初詣や花見等の外出を行い、社会参加や気分転換を図れるよう支援を行った。
R4年度	新型コロナウイルス感染症対策として、昨年に引き続き、換気・空気清浄機の使用、パーティション設置、利用者・職員共に手指の消毒を行いました。コロナ感染の為、一時、利用出来ない施設が出たため、その間、利用を受け入れました。今年度は創作活動に力を入れ、利用者同士、職員も協力し、いろいろな物を作成しました。生活リハビリや気分転換を図るために、センター内やセンター付近の散歩等も行いました。

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
利用日の変更や追加の希望	希望に沿った受け入れにて対応

【指定管理者の自己検証】

<ol style="list-style-type: none"> 1. 協定書や仕様書に基づき、当初の事業計画どおりに実施できた。 2. 大洲市と連携をとりながら、指定管理者として、利用者からの意見・要望に耳を傾け、事業所内で共有したうえで、回答・対応しながら施設の管理運営を行った。 3. 職員間で共有した「運営マニュアル」の点検を行った。 4. 安全管理については、マニュアルを活用した研修を実施し、また事故発生に対する検証や対策の確認を行った。 5. 指定管理者として、利用者一人一人の尊厳の保持、人権、権利擁護を基本とし、ケアプランに基づいて適切なサービスが提供できるような健全な施設運営を心掛けた。 6. 法人事務所並びに事業所間と連携・協力しながら、管理運営の効率化に努めた。
--

【施設所管課の検証・評価】

<p>協定書や仕様書に基づく適正な事業実施、適切な管理運営が行われている。新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、幅広く余暇活動や様々な季節に合わせた創作活動を行うなど、利用者個々の能力に応じた支援やメニューの提供を行い、尊厳の保持、人権・権利擁護を基本とした取組みに心がけている。また、職員においては日頃から各種マニュアルを確認・共有しながら安全管理に努められている。引き続き、関係各所との連携・協力をしながら更なるサービス向上を目指した施設運営をお願いしたい。</p>
--